

令和3年第1回嬉野市議会定例会会議録

招 集 年 月 日	令和3年2月26日					
招 集 場 所	嬉野市議会議場					
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	開会	令和3年2月26日 午前10時00分			副議長 山下 芳 郎	
	散会	令和3年2月26日 午前10時32分			副議長 山下 芳 郎	
応（不応）招 議員及び出席 並びに欠席議員	議席 番号	氏 名	出欠	議席 番号	氏 名	出欠
	1番	山 口 卓 也	出	9番	森 田 明 彦	出
	2番	諸 上 栄 大	出	10番	辻 浩 一	出
	3番	諸 井 義 人	出	11番	山 口 忠 孝	出
	4番	山 口 虎 太 郎	出	12番	山 下 芳 郎	出
	5番	宮 崎 一 徳	出	13番	山 口 政 人	出
	6番	宮 崎 良 平	出	14番	芦 塚 典 子	出
	7番	川 内 聖 二	出	15番	梶 原 睦 也	出
	8番	増 田 朝 子	出	16番	田 中 政 司	欠

地方自治法 第121条の規定 により説明の ため議会に出席 した者の職氏名	市長	村上 大 祐	新幹線・まちづくり課長	
	副市長	池田 英 信	市民課長	
	教育長	杉崎 士 郎	健康づくり課長	
	行政経営部長	辻 明 弘	子育て未来課長	
	総合戦略推進部長	池田 幸 一	文化・スポーツ振興課長	
	市民福祉部長	陣内 清	福祉課長	
	産業振興部長	早瀬 宏 範	農業政策課長	
	建設部長	副島 昌 彦	観光商工課長	
	教育部長	永江 松 吾	建設・農林整備課長	
	会計管理者兼 会計課長		環境下水道課長	
	総務・防災課長兼 選挙管理委員会事務局長	太田 長 寿	教育総務課長	
	財政課長	山口 貴 行	学校教育課長	
	税務課長		監査委員事務局長	
	企画政策課長		農業委員会事務局長	
広報・広聴課長	井上 元 昭	代表監査委員		
本会議に職務 のため出席した 者の職氏名	議会事務局長	諸井 和 広		

# 令和3年第1回嬉野市議会定例会議事日程

令和3年2月26日（金）

本会議第1日目

午前10時 開 議

- |       |  |
|-------|--|
| 日程第1  | 会議録署名議員の指名   |
| 日程第2  | 会期の決定  |
| 日程第3  | 諸般の報告  |
|       | 報告第1号 議決事件に該当しない契約の報告について                            |
| 日程第4  | 議案第2号 嬉野市まち・ひと・しごと創生基金条例について                         |
| 日程第5  | 議案第3号 嬉野市長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例について                   |
| 日程第6  | 議案第4号 嬉野市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について                   |
| 日程第7  | 議案第5号 嬉野市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について                  |
| 日程第8  | 議案第6号 嬉野市ふれあい広場条例の一部を改正する条例について                      |
| 日程第9  | 議案第7号 嬉野市特別用途地区内の建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について          |
| 日程第10 | 議案第8号 佐賀縣市町総合事務組合理約の変更について                           |
| 日程第11 | 議案第9号 令和2年度嬉野市一般会計補正予算（第13号）                         |
| 日程第12 | 議案第10号 令和2年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）                   |
| 日程第13 | 議案第11号 令和2年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）                  |
| 日程第14 | 議案第12号 令和2年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計補正予算（第4号）      |
| 日程第15 | 議案第13号 令和2年度嬉野市浄化槽特別会計補正予算（第2号）                      |
| 日程第16 | 議案第14号 令和2年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第七土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）    |
| 日程第17 | 議案第15号 令和2年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第八土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）    |
| 日程第18 | 議案第16号 令和2年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第3号） |
| 日程第19 | 議案第17号 令和3年度嬉野市一般会計予算                                |
| 日程第20 | 議案第18号 令和3年度嬉野市国民健康保険特別会計予算                          |
| 日程第21 | 議案第19号 令和3年度嬉野市後期高齢者医療特別会計予算                         |
| 日程第22 | 議案第20号 令和3年度嬉野市農業集落排水特別会計予算                          |
| 日程第23 | 議案第21号 令和3年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計予算             |

- 日程第24 議案第22号 令和3年度嬉野市浄化槽特別会計予算
- 日程第25 議案第23号 令和3年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第七土地区画整理事業費特別会計予算
- 日程第26 議案第24号 令和3年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第八土地区画整理事業費特別会計予算
- 日程第27 議案第25号 令和3年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計予算
- 日程第28 議案第26号 土地の取得について
- 日程第29 議案第27号 財産の無償貸付について
- 日程第30 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について

---

午前10時 開会

○副議長（山下芳郎君）

皆さんおはようございます。本日は、議長が所要のために欠席でございます。代わりまして、私、副議長が本日進めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、令和3年3月定例市議会に御出席をいただきまして、誠に御苦労さまでございます。

本定例議会では、新年度予算の審議や条例制定の審議など、極めて重要な議会でございます。議員も地域住民の福祉の向上を目指し、予算や条例等について十分に精査をしていただき、議会としてのチェック機能を果たすべく、活発な質疑や審議をお願いするところでございます。

本日は、議長の田中政司議員が欠席であります。定足数に達しておりますので、ただいまから令和3年第1回嬉野市議会定例会を開会いたします。

今議会の議会運営につきまして、2月24日に議会運営委員会を開催していただいておりますところであり、その結果について報告を求めます。辻浩一議会運営委員長。

○議会運営委員長（辻 浩一君）

皆様、改めましておはようございます。去る2月24日に議会運営委員会を開催いたしました。今定例会の議会運営に関し協議を行いました。

ただいまより会期日程（案）について御報告申し上げます。

お手元に配付の令和3年第1回嬉野市議会定例会会期日程案を御覧ください。

会期は、本日2月26日から3月19日までの22日間です。

2月26日、本日、開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、議案一括上程、提案理由の説明、本会議終了後、執行部より議案の詳細説明を受ける合同常任委員会。

2月27日、28日休会。

3月1日、2日、3日、常任委員会。

3月4日、5日、6日、7日、8日、休会。

議案質疑につきましては、3月9日、10日、11日、17日の4日間を予定しております。

3月9日、議案質疑、3月10日、議案質疑、3月11日、議案質疑。

3月12日、一般質問。

3月13日、14日、休会。

3月15日、16日、一般質問であります。

なお、一般質問については、今定例会に15名の議員から通告がっておりますので、12日に5名、15日に5名、16日に5名の配分で行いたいと考えております。いずれも開議時刻は9時30分であります。

3月17日、議案質疑。追加補正についての議案質疑でございます。

3月18日、休会。

そして、3月19日、討論・採決、閉会としたいと思います。

以上、今定例会の会期日程案について御報告申し上げます。

#### ○副議長（山下芳郎君）

議会運営につきまして、ただいま委員長から報告のあったとおりであります。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。これで議会運営につきまして報告を終わります。

それでは、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

日程第1．会議録署名議員の指名を行います。

嬉野市議会会議規則第85条の規定によりまして、会議録署名議員に7番川内聖二議員、8番増田朝子議員、9番森田明彦議員を今会期中の指名といたします。

日程第2．嬉野市議会会議規則第4条の規定により、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から3月19日までの22日間としたいと思います。御異議はありますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。会期は本日から3月19日までの22日間に決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております会期日程のとおりでありますので、御了承をお願いいたします。

日程第3．諸般の報告を行います。

初めに、去る令和3年2月2日に、全国市議会議長会基地協議会第84回総会、2月8日に、

全国広域連携市議会協議会第52回総会、2月16日に、全国高速自動車道市議会協議会第47回定期総会が開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、書面にて決議となっております。それぞれの書面決議で、令和元年度歳入歳出決算や令和3年度の活動方針案、歳入歳出予算案など提案され、可決されました。

なお、総会の資料は議会事務局で管理しておりますので、御覧ください。

次に、報告第1号 議決事件に該当しない契約の報告についてにつきましては、お手元に配付しておりますので、それをもって報告といたします。

これで諸般の報告を終わります。

日程第4. 議案第2号 嬉野市まち・ひと・しごと創生基金条例についてから日程第30. 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦についてまでを一括して議題といたします。

朗読を省略いたしまして、提案理由の説明を求めます。市長。

### ○市長（村上大祐君）

皆さま、おはようございます。開会に当たりまして、令和3年度の市政方針の概要を申し述べた上で、提案理由を御説明いたします。

何よりも優先されるべきは、「命を守る」ことであります。新型コロナウイルス感染症がまだ猛威を振るう中、引き続き感染拡大防止策を講じつつ、希望される市民にワクチン接種を速やかに進めていくことが目下の課題と認識をしております。

嬉野市では、国の接種スケジュールがなかなか定まらない中ではありますけれども、立ち止まることなく、いち早く市内の医療機関との協議、また、医師会との協議も進め、集団接種会場となる塩田保健センターに加え、嬉野医療センター、また、市内のかかりつけ医でも接種が可能な「嬉野市モデル」を確立いたしました。とりわけ、医療機関の多いこの嬉野市の特殊事情も鑑みて、アナフィラキシーショックであったり、そういった副反応の不測の事態への備え、また、既往歴のある方、難しい方のかかりつけ医からの医療センターへの紹介制度なども含めて、しっかり連携の下でスクラムを組んで、対応をしているところでございます。

御協力いただいた医療機関並びに医療従事者の皆様に心から感謝を申し上げるとともに、国が決定をいたします一般接種開始のスケジュールに遅れることなく、接種を進め、一日でも早く市民の皆さんの「安心」を取り戻すことに全力を挙げてまいります。

また、年々激甚化する自然災害への対応も常にアップデートを行い、最新の知見を取り入れて備えねばなりません。昨年7月の豪雨による災害箇所への復旧への取組を加速すると同時に、令和2年度補正予算でも、避難所で使用する簡易ベッドや間仕切りなどの資機材購入の予算を計上しております。

今後は、コロナ対策を織り込み、防災・減災拠点の分散化も検討するべき課題であり、公共施設の再編計画の中にも位置付けていく必要がある旨と併せまして、先日開催された嬉野

市防災会議におきましても御了承をいただいたところでございます。市民の安心・安全こそが全ての前提である、そういったことを忘れずに、努力を重ねていく所存でございます。

九州新幹線西九州ルート of 暫定開業が来年秋と照準が定まり、駅名も正式に「嬉野温泉駅」と決定をいたしました。駅舎建設も完了へと向かい、いよいよこれから駅前のまち並みも形となってあらわれてくる最終段階へと突入をいたしました。新年度予算でも国の都市構造再編集中事業を活用して、観光情報発信の拠点となる観光文化交流センター建設をはじめとするハード整備の関連予算を計上するとともに、登録を目指し国土交通省と協議中の「道の駅」構想についても、一部国直轄の簡易パーキング事業として整備を進めていただきますよう要望をしているところでございます。

ソフト面でも、コロナ禍を踏まえた新たなスタイルの観光や企業誘致、移住・定住などあらゆる場面で選ばれるまちを目指す「シティプロモーション」も未来への投資と位置づけて積極的に取り組んでいく所存でございます。

シティプロモーションの目玉事業としては、将棋の8大タイトルの一つである王位戦の対局を、8月18日、19日に嬉野市で開催する運びとなりました。現在王位の座にあるのは、将棋界の数々の最年少記録を打ち立て、瞬く間にトップ集団に上り詰めた藤井聡太二冠であります。また、近年の将棋界は、対局内容もさることながら、対局の合間の食事やおやつが注目を集めることもあり、多くの将棋ファンの来訪のみならず、嬉野の食や日本遺産「シュガーロード」に象徴されるお菓子文化、昨年の全国茶品評会日本一二冠を達成した「うれしの茶」を絡めたPRの展開が期待できると確信をしております。市民の総力を挙げて最高のおもてなしを提供して歴史に残る対局とするとともに、その後の大いなるまちの飛躍につなげていきたいと考えております。

また、農業を成長産業に転換していく大きな転換点と位置付ける園芸ハウス団地事業についても来年度は大きく動き出します。塩田町宮ノ元で第1期工事がスタートする予定で、キュウリ・トマト・イチゴ等の施設園芸野菜を新規に始める営農者を募り、移住・定住支援プログラムと絡めて定着を図り、産地化・ブランド化を進めて経営基盤の強化や所得向上につなげていく意欲的な取り組みであります。

去年は、新茶の書き入れどきを新型コロナウイルス感染拡大が襲ったこともあり、「うれしの茶」の販売促進や生産基盤強化に一層の力を入れていく必要も感じております。「うれしのブランド」を磨き上げることで、嬉野の知名度アップや稼ぐ力を引き出すと同時に、嬉野市で暮らすことへの喜びや市民としての誇り「シビックプライド」を呼び起こす産業振興に努めてまいります。

最後に、今後の組織やまちの活性化の鍵は人材の多様性にありという観点から、女性活躍推進の政策パッケージも今議会で提案をしております。昨年12月に全国第1号で認定された「女子野球応援タウン」で掲げた構想に基づき、日本代表「マドンナジャパン」の皆さんと

嬉野で輝く女性を結んで元気を発信していく事業も展開をいたします。

子育て世代のキャリア復帰支援や、隙間時間の有効活用につながる新たな働き方を支援する「職業紹介事業」を武雄市と共同で行うことも、その政策の一つでございます。自治体間連携や子ども預かりとの一体型職業紹介は前例のない取組で、地元企業に人手不足解消やサービス向上も目指す、一石何鳥にもしていきたいと意気込んでおるところであります。コロナ禍の影響もあり、社会の分断が進む昨今の風潮に憂慮するばかりであります。応援されると元気になる、人を心の底から応援すると自分もやる気になる、「応援の連鎖」こそが、真にまちをよくすることであると確信をしております。

本年度は、過去最高となる規模での予算編成でございます。ふるさと納税が堅調ではあるものの、コロナの影響による税収減が見込まれることもあり、将来負担を見据えた財政規律の順守も必要であるという認識に変化はありません。3月から運用開始予定の電子申請サービスをはじめとするデジタル化業務改革への取組は、将来への投資と位置づけて引き続き積極的に行っていく所存であります。

それでは、これより今議会に提出をいたしました議案等につきまして、その概要を御説明いたします。

今定例会に提出いたします案件は、報告1件、条例の制定2件、条例の一部改正4件、一部事務組合規約の変更1件、令和2年度の補正予算8件、令和3年度当初予算9件、財産の取得又は貸付けに関するものが2件、人事案件1件の全部で28件について、御審議をお願いするものでございます。

まず、条例の制定につきましては、議案第2号が、まち・ひと・しごと創生寄附活用事業の推進のため基金の創設を行うもの、議案第3号は地方自治法の改正に伴い、市長等の損害賠償責任の一部免責を制度化するものでございます。

次に、条例の一部改正に関しましては、議案第4号が、職員手当に関し、新規設置及び算定方法を変更するもの、議案第5号は、職員の旅費支給に関し、新設及び変更を加えるもの、議案第6号は、ふれあい広場を新たに整備し、一覧に追加するもの、議案第7号は、特別用途地区内における建築物の制限内容を変更するものでございます。

次に、議案第8号の組合規約の変更につきましては、佐賀県市町総合事務組合の事務所の位置を変更するものでございます。

続きまして、議案第9号から議案第16号までの8議案は、令和2年度の各会計の補正予算に関するもの、また、議案第17号から議案第25号までの9議案は、令和3年度嬉野市一般会計をはじめとした各特別会計の当初予算に関するものでございます。

まず、令和2年度の各会計の補正予算から御説明を申し上げます。

議案第9号 令和2年度嬉野市一般会計補正予算（第13号）について御説明をいたします。歳入歳出それぞれ2億8,365万4,000円を増額し、補正後の予算総額を226億797万4,000円

とするものでございます。

今回の補正は、ふるさと応援寄附金の伸びによる最終見込額3億5,000万円の増、地方創生臨時交付金の第3次交付分（国庫補助裏分）1,432万2,000円や執行残により新規事業や既決事業に対して充当するもののほか、新型コロナウイルスワクチン接種事業に3,205万円の増、産地パワーアップ事業に6,574万円の増、また、国の補正予算に伴う事業として、農村地域防災減災事業（河川応急）に1億5,079万7,000円の増、社会資本整備総合交付金事業の市道調査・改良事業として1,705万8,000円の増、轟小学校の空調設備改修費として680万4,000円などが主なものとなっております。

また、歳入歳出共に、各種の事務事業で確定した額への補正や年度末に不用額等が見込まれる額への減額補正等を計上しております。

これらにより、教育環境支援基金へ1億円積立てを行うとともに、財政調整積立金からの繰入れを2億6,342万4,000円減額いたしております。

また、今年度中に終えることのできない事業を翌年度に繰り越すため、繰越明許費補正を計上しております。

議案第10号 令和2年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）については、過年度分の普通交付金等の収入を国民健康保険基金へ積み立てる補正を行っております。

議案第11号 令和2年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）については、今年度の歳入歳出の決算見込みにより補正を行っております。

議案第12号 令和2年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計補正予算（第4号）については、使用料減による減額補正を、議案第13号 令和2年度嬉野市浄化槽特別会計補正予算（第2号）については、施設維持管理業務の減額による補正をいたしております。

議案第14号 令和2年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第七土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）については、土地の売払い収入を、議案第15号 令和2年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第八土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）については、土地の貸付け収入を計上し、それぞれ一般会計への繰り出しを行っております。

議案第16号 令和2年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第3号）については、繰越明許費のみの補正予算を計上しております。

次に、各会計の当初予算を御説明申し上げます。

議案第17号 令和3年度嬉野市一般会計予算について御説明をいたします。

予算の総額は、186億2,800万円となり、前年度当初より11億2,200万円の増、率にして6.4%の増となっております。増額となった理由といたしましては、ふるさと応援寄附金を前年度より3億円増と見込んでいるとともに、前年度寄附金を積み立てた基金からの繰入金を約14億9,323万9,000円、また、令和4年秋の開業に向けて整備を進めている新幹線嬉野温

泉駅周辺整備について、観光文化交流センター整備などの関連予算として6億3,070万円等が主なものとして挙げられます。

それでは、歳入から御説明をいたします。

まず、市税のうち市民税が、新型コロナウイルス感染症の影響により景気の低迷を考慮して1億3,450万4,000円の減、入湯税が2,115万円の減が見込まれるため、全体としては前年度当初比5.9%の減収を見込んでおります。また普通交付税は、合併算定額の特例が令和2年度で終了し減額を見込んでおりますが、臨時財政対策債の増額により、ほぼ同額を確保している状況です。また、嬉野温泉駅周辺整備などの普通建設事業の増により、国庫支出金や市債などがそれぞれ増額となっております。

次に、歳出予算について説明をいたします。主な事業を申し上げます。

総務・防災課では、平成26年度から進めている防犯灯のLED化を引き続き進め、犯罪の抑止効果と交通事故の防止に努めてまいります。

企画政策課では、地域おこし協力隊により、外部からの視点を取り入れた移住者目線での移住施策（お試し移住施設・お試しサテライトオフィス）を推進する事業、「移住促進事業」として人口増加を目的とした各種応援金を交付する事業等を行います。また、ふるさと応援寄附金については、受付業務・返礼品の費用などの経費と、基金への積立金を計上しております。なお、積み立てた基金は、翌年度寄附の目的に応じた事業の財源として活用をさせていただきます。

広報・広聴課では、令和2年度に導入したRPA、AI-OCRについて、定型業務の自動化対象を広げ業務量削減のための運営支援業務を行うほか、シティプロモーションの取組として、連携企業とのコラボ事業などにより嬉野市を市内外・国内外に強力にPRし、交流人口の増加や市内経済の活性化を行います。

新幹線・まちづくり課では、令和4年秋に開業する嬉野温泉駅周辺の整備及び開業に向けたPR事業に取り組みます。

文化・スポーツ振興課では、「オリンピック・パラリンピック関連事業」として、オリンピックを通してスポーツのすばらしさを感じてもらうため、本市出身選手の出場予定競技のパブリックビューイングを開催するとともに、本市でオランダのホストタウン関連事業として開催予定の「ウォーキング・チャレンジ・ジャパン」において、歓迎イベントなどを予定しております。また令和6年に佐賀県内で開催される「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」に関連して、みゆき球場のユニバーサルデザイン化の改修を行います。

福祉課では、市内の介護施設や障がい者の施設の職員不足を解消するため、新たに就職した者に対して補助金を交付することで、安定したサービスを提供する体制づくりを目指してまいります。

子育て未来課では、観光商工課と連携して「就労対策支援事業」を実施し、既存の子育て

ファミリー・サポート等の事業を活用しながら、子育て中のママやパパの就業の際の支援として、預かり時の一部助成を行ってまいります。これは、冒頭申し上げましたとおり、武雄市との共同事業ということでございます。

健康づくり課では、「子どもインフルエンザワクチン予防接種費用」の一部助成について、対象接種者を18歳まで延長するとともに、令和2年度と同様に助成額を2,000円に拡充をしております。

農業政策課では、施設園芸農業の新規就農者が速やかに安定した営農形態を確立できるように、費用負担の軽減を目的として、市においてハウス団地としての整備を行います。茶業振興としては「農地再生支援事業」として耕作放棄された茶園を伐採・抜根を実施し、荒廃茶園の解消と新たな営農支援策としての費用の一部を助成いたします。

観光商工課では、「就労対策支援事業」として、求職者の就職要件と雇用者が求める人材のマッチングを行い、市内事業所の人手不足の解消につなげます。また、「ディステーションキャンペーン事業」として、令和4年10月よりJRグループ旅客と自治体・地元の観光事業者等が共同で展開する観光PR事業に先駆け、嬉野市独自で関西圏や新幹線沿線都市にキャンペーンとPRをJR西日本などと共に行い、嬉野市の知名度アップを図ってまいります。

建設・農林整備課では、市が管理する橋梁等について長寿命化を図るため、定期点検を行うとともに、補修工事を行います。また、「基幹農道整備事業」として、引き続き指定農道五町田中村線舗装工事を実施いたします。

教育総務課では、情報教育指導員を3名配置し、各学校を巡回し、授業・校務・教員研修など、教員のICT活用の場面をサポートすることにより、ICT利活用の教育の充実を図ってまいります。また、塩田津伝統的建造物群保存地区内における修景事業として、公開活用施設の新築を行い、観光客用のトイレを設置するとともに、散策ガイドランスとして塩田津に関する映像コンテンツを整備いたします。また、国の天然記念物である大（オオ）チャノキの樹勢を回復するため、引き続き国県の補助事業を利用して、保存活用を図ってまいります。

以上申し上げました事業のほかにも、各種の事務事業に取り組み、市民生活の向上を図るべく努力してまいります。

また、令和2年度から佐賀西部広域水道企業団に統合された水道事業につきましては、今後10年間で国の交付金を活用した老朽管の更新事業が実施されますので、市の負担分として出資金7,230万円を新規計上しております。

続きまして、議案第18号から議案第25号の各特別会計予算について御説明を申し上げます。

「国民健康保険特別会計」については、歳入歳出予算の総額は、35億3,426万1,000円で前年度当初予算から、1.3%の減となります。新型コロナウイルス感染症の影響により医療機

関への受診控えと思われる医療費の減の運営によるものでございます。

次に、「後期高齢者医療特別会計」については、歳入歳出総額は3億8,206万2,000円で前年度当初予算から、1.0%の減となっております。国民健康保険と同様に医療費減による納付金の減によるものでございます。

次に、「農業集落排水特別会計」については、歳入歳出総額は3億9,663万9,000円で前年度当初予算から、2.0%の増となっております。調査設計事業費用の増によるものであります。

次に、「公共下水道事業費特別会計」については、歳入歳出総額は、5億2,721万1,000円で前年度当初予算から12.3%の増となっております。計画区域内の管路工事が最終年度の予定であるため増額となっております。

次に、「浄化槽特別会計」については、歳入歳出総額は1億8,917万5,000円で前年度当初予算から3.1%の減となっております。浄化槽の設置基数の減少によるものでございます。

次に、「嬉野第七土地区画整理事業費特別会計」は前年度当初予算から81.3%の減、「嬉野第八土地区画整理事業費特別会計」は前年度当初予算から45.5%の減ですが、いずれも清算段階となっており、公債費の償還金減が主なものとなっております。

次に、「嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計」については、歳入歳出総額3億125万3,000円で前年度当初予算から58.8%の増となっております。開業までに駅前広場の整備を行うための大幅な増加となっております。

次に、議案第26号 土地の取得については、嬉野温泉駅周辺整備に係る土地取得に関するもの、議案第27号 財産の無償貸与については、土地の活用のため無償貸与を行うものであります。

最後に諮問第1号の人事案件は、人権擁護委員に1名の方を推薦したいので、議会の意見を求めるものでございます。

なお、国の第3次補正予算による地方創生臨時交付金（地方単独分）の追加内示に係る事業のほかにつきまして、今会期中に追加提案を予定しておりますので、あらかじめ御了承いただくようお願いを申し上げます。

最後になりますが、今議会では15名の議員の皆様より一般質問をお受けしております。真摯にお答えをしたいと思いますので、よろしく御願い申し上げまして、提案理由の説明とさせていただきます。

#### ○副議長（山下芳郎君）

これで提案理由の説明を終わります。

お諮りいたします。

議案第2号から諮問第1号までの27件につきまして、委員会付託を省略したいと思います。これに異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第2号から諮問第1号までの27件につきましては、委員会付託を省略することと決定いたしました。

以上をもちまして本日の日程を全部終了いたしました。

本日、これで散会といたします。

午前10時32分 散会